

村長と語り合う タウンミーティング

20231126 質疑応答

代表的な質問

他自治体と東海村の（子育て環境の）違いについて

- ・ 周辺の自治体から転入してきたが東海村は子育てしやすいと感じている。実際保育園に入ることもできた。
- ・ 公園も整備されていて安心安全で利用しやすい。
- ・ 天候の影響等で子供が外で遊べないときもあるので、（猛暑だった）今年の夏は困った。室内で遊べる場所があるとよい。

村長からの回答

様々なニーズがあり、どうやって応えていくかを考えながら取り組んでいる。保育所については、一時保育も利用しやすくなっている。病児病後児保育についても利用者は多いので建ててよかったと感じている。

保育所は民間と公営のものがあるが、民業圧迫とならないような配慮も必要。民間に期待しつつ、子供の数が減っていて難しい場合は村として対応していく。保育士も一時的に増えることになるが、村の職員として別の施設で働くことも可能なので何とか受け皿を作っていきたい。日立の「ハレニコ」はとてもいい施設だと思っているし、具体的な屋根がある屋外施設なども含め、雨の日でも親子で過ごせるような場所を造っていきたい。

代表的な質問

他自治体と東海村の（子育て環境の）違いについて

- ・東海村は通り過ぎ去られてしまうことも多いので、他との違いを知りたい。

村長からの回答

東海村は通過されてしまうと言われることもある。どうやって魅力を作るかが大事である。観光面ではなかなかスポットがないので、国道245が拡幅され、今度は6号も拡幅されるので、何とか滞留してもらえよう魅力のあるまちづくりをしていきたい。

代表的な質問

村長からの回答

ゴミ収集の問題
場所の確保などについて
意見があった。自治会に
入らないとゴミが出せない？
自治会の魅力とは？

東海村は集積所を使う方式を採用している。衛生上の問題などを考慮して選択している。自治会とゴミの収集を分離したやり方もある。が、これらの統一は非常に難しい。区画整理地内では、最初に地域のごみ集積所を確保する取り組みをしている。高齢化が進む中で、集積所以外の収集方法も検討する必要があり、課題の整理を進めている。

東海第二原発の問題（核
のゴミ）についても課題
を感じている。ストップ
することはできないか？

事業者が安全対策工事を進めつつ、村は防災対策として広域避難計画の策定を進めている。近隣市町村の計画が出そろった段階で、国・県と一緒に避難できるように検討しなければならない。核のゴミについても、再処理工場が稼働しないことで、（国民に）不安が募っている。「核燃料サイクル」という国の方針が破綻したらそれこそどうするのか、ということはある。

代表的な質問

村長からの回答

人口を増やすには？
18歳未満，子育て世代，
それより上，の3世代
で分けて考えた。そこ
で，子育てに関するア
ピールをしては？とい
う意見が出た。

広報誌，SNSなどでアピールしている
が弱いと感じている。東海村独自の子
育て施策も考えている。世代別の支援
策を検討して取り組んでいる。中・高
校生に対するアプローチが抜けている
と感じていて，そこをもっと強化した
い。気軽に話せる，意見できる場づく
り。

障害者のサポート，特
にサポートする側の高
齢化に関して課題があ
ると感じている。

障害者については家族のサポートで何
とかしているというのが現状だと思
う。障害サービスを提供している事業者と
も連携しながら取り組み内容を検討し
ていきたい。

代表的な質問

村長からの回答

人口流出について。若い世代が増えているが、中間層が減っている！？大学→就職という流れで、東海村に帰ってこない現状があるのでは？

就職場所として、東海村に働く場所を作れるか？という点、民間事業者が主体となるため難しい面もある。創業支援も取り組んでいる。村出身者が帰ってくる場所、かわり続けられる機会づくりを考えていきたい。

中高生のサポートについて、生徒会に予算を提供して一緒に課題解決を考える。あるいは、習い事補助などチャレンジする機会を提供するのがよいのでは？

市内の小中学校に予算を渡し、著名人の講演会に使ったという事例もある。生徒が話し合い、自分たちで考えて実行する機会づくりは検討したい。子供たちの主体的な活動をサポートしていきたい。

代表的な質問

東海第二原発の再稼働を止められないのか？住みやすい東海村という話もあったが、安全対策・避難計画が出そろっていない。

安全対策工事で施工不良があった（作業者の告発で明らかになった）それでも原発を動かすのか？

また、使える財源は、検討中の施策に活用してほしい。

村長からの回答

告発（報道内容）については認識している。事業者の信用問題となるので、しっかり確認していきたい。

安全対策が機能するかどうか？は専門性が必要なので村独自の意見だけでなく、様々な機関と協力して進めている。

再稼働については、様々な意見があるので、住民の総意を何かしらの形でまとめていくのが私の使命だ。しかし、現状では、住民の意向把握の仕方も決めていないので、今この場でどうするかを伝えることはできない。

基金をどう活用するかは、長期的な視野（将来負担）と対象者を吟味して取り組んでいく必要がある。現状では、小学校入学前の支援を中心に考えている。

代表的な質問

交通面について。駅周辺はお店や飲食店もあり利便性が高いが、駅から離れるとお店もなく、移動にも労力がかかる。小中学生や免許を返納した高齢者はなかなか移動手段がない。どのように考えているか。

村長からの回答

移動手段については、度々タウンミーティングで出てきた。東海村では路線バスとデマンドタクシーの組み合わせで住民の移動をサポートしている。しかし、それだけでは支援しきれないことも認識している。

コミュニティバスの話もあるが、定時制であり、個々人のニーズに合わないという課題があるため、利用されにくい現状がある。地域には小回りが利く交通手段が必要である。

東海村は比較的コンパクトなので、新しい技術を活用した支援も検討している。ライドシェア・カーシェアリングなど。あるいは自動運転バス等である。いろいろ組み合わせて検討していきたい。